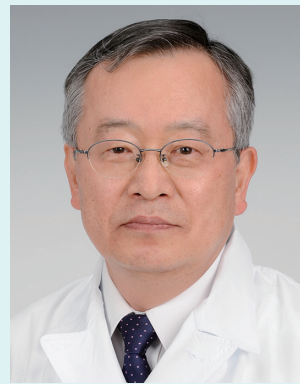


順天堂医院ニュース 2021 NO.76

新任教授紹介

呼吸器内科

この度、2021年3月1日付で呼吸器内科学の講座内教授を拜命致しました。私は、北の大地と雪に憧れ、北海道大学に入学して医学を学びました。学生の頃から、医師として診療するだけでなく、研究をして医療を進歩させることにも携わりたいという漠然とした思いを持っていました。呼吸器疾患は、肺癌、喘息、COPD、感染症、などの common disease に加え、たくさんの病気がありますが、呼吸器病学を学び始めた頃、 α_1 -アンチトリプシン欠乏症、リンパ脈管筋腫症、びまん性汎細気管支炎、等の珍しい病気の患者さんの診療を担当する機会に恵まれました。吉良枝郎教授から、一人一人の患者さんを丁寧に診療し、その結果を真摯に自身に問い続ける姿勢を学びました。貫和敏博助教授からは、患者さんから得られる臨床検体を用いて病態を研究する大切さを教えて頂きました。米国ワシントン州立大学に約3年間留学し、Hans D. Ochs 教授の下で小児免疫不全症候群の病因遺伝子や病態解析の研究を行いました。3人の恩師の指導を受け、患者さんの診療を基盤とし、良く考え、調べ、振り返り、診療に際して得られる臨床検体を詳しく調べることで病因・病態を明らかにしていく、という自身の基本的姿勢ができあがったと感じます。これからも、希少肺疾患の診療や研究と、この分野に関心のある若手医師の育成に貢献していきたいと思っています。



呼吸器内科
瀬山 邦明

順天堂医院HP【呼吸器内科】



各記事にあるQRコードを読み込むことで、各診療科および各部署のHPを開くことができます。ぜひ、ご活用ください。



順天堂医院HP

この度、2021年3月1日付で細胞療法・輸血学研究室と血液学講座(併任)教授を拝命いたしました。

輸血療法は、血液疾患の患者さんの治療のみならず、抗がん剤治療、手術や出産、臓器移植、外傷などで大量出血した場合などすべての診療科に必須の治療で、現時点では他に代替物が存在しません。皆様の治療の主役にはなれませんが、名脇役として安心、安全な輸血製剤の供給に努めていきたいと思っております。

また、順天堂医院は最先端の免疫T細胞療法であるキメラ抗原受容体(CAR)T細胞療法も積極的に行っています。2020年2月に再発または難治性の白血病とリンパ腫の新たな治療薬である「CAR-T細胞療法(キムリア)」の提供可能施設として関東で5番目の施設認定となりました。キムリアは、患者さん自身の免疫細胞であるT細胞に遺伝子改変を行うことで、白血病細胞やリンパ腫細胞への攻撃力を高める治療法であり、「がん免疫遺伝子治療」とも呼ばれます。患者さんの血液からT細胞を取り出し、レンチウイルスベクターを用いて遺伝子を導入し、CARと呼ばれる特殊なたんぱく質を発現できるT細胞(CAR-T細胞)を作ります。CARは、白血病細胞やリンパ腫細胞であるB細胞の表面に発現している「CD19」と呼ばれる抗原を特異的に認識することができ、このCARを発現したCAR-T細胞はB細胞(白血病やリンパ腫細胞)を特異的に攻撃することができます。このCAR-T細胞を体外で増やして患者さんの体内に戻せるように製造された製品がキムリアです。現在、施設認定後1年が経過し、多くの患者さんに治療を行っております。

細胞療法・輸血学研究室と血液学講座では、がんに対する細胞療法の研究開発を行っており、今後もより良い医療の提供を行ってまいります。ご不明な点がありましたらお気軽にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



細胞療法・輸血学／血液内科

安藤 純



順天堂医院HP【輸血・細胞療法室】



順天堂医院HP【血液内科】

この度、2021年4月1日付で臨床遺伝学の教授を拜命いたしました。

本学の臨床遺伝学は、まだ開設後2年ほどの新しい部門であり、遺伝に関わる遺伝子検査や遺伝カウンセリングを担当しています。遺伝はほぼすべての診療科に関わっており、当科は診療各科と連携して患者さんの診療を支援しています。遺伝の分野は広範にわたるため、私は主に遺伝性の癌の領域を担当していますが、他のスタッフとともに小児科や循環器などそれぞれの専門領域を中心に広範な領域をカバーしています。

遺伝を調べる遺伝子検査は、女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが遺伝性乳癌卵巣癌の原因遺伝子であるBRCA1遺伝子の変異を公開したことや、血液で胎児の染色体異常を検査する新型出生前診断などで広く知られるようになりました。ただ、遺伝を調べる遺伝子検査を行う前提として、検査で異常が見つかった場合に今後の対策や家族のことを相談する遺伝カウンセリングの場が必要です。当科は特に遺伝子検査で変異が認められた方には生涯にわたって、あるいは世代を超えて継続的なフォローアップを行っています。

遺伝に関する遺伝子検査は、自分をよく知り、ウィークポイントがあれば事前に医療者と具体的に対策を立てることに意義があります。また、遺伝性疾患を診断したり適切な健康管理につなげることでなく、遺伝子検査の限界について適切な認識をお持ちいただくことも大切であると考えています。

遺伝に関するご相談がありましたら担当医の先生を通じて、もしくは臨床遺伝外来（B棟3階 予約診察室）へ遠慮なくお問い合わせください。

今後とも臨床遺伝学（臨床遺伝外来）をよろしく願い申し上げます。



臨床遺伝学／臨床遺伝外来
新井 正美





sterEOS (脊椎・下肢特殊長尺撮影装置)

sterEOS (脊椎・下肢特殊長尺撮影装置) は、立った状態での全身撮影を行います (図 1)。これにより椎体の位置や角度、傾き具合などを計測して定量的に把握することができるため、様々な疾患の手術計画や治療経過、または症状の進行の経時的なモニタリングに役立っています。(例：側弯症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症、変形性股関節症など)。また、全身撮影だけでなく、脊椎や下肢のみの撮影も可能です。

【sterEOS の特長】

- ① 立った状態での全身の正面・側面像を同時に撮影することが可能
立った状態と寝た状態では体幹に差が生じるため、普段生活する立った状態での撮影が重要です。sterEOS では 1 回の撮影で正面と側面の 2 方向を撮影することができます (図 2)。
- ② 撮影時間が短い
撮影範囲の決定に 5 秒程度、その後全身撮影に 30 秒程度で撮影可能です。患者さんの状態や症状によって差はありますが、全部でおよそ 5 分程度の検査となります。



図 1
sterEOS 装置

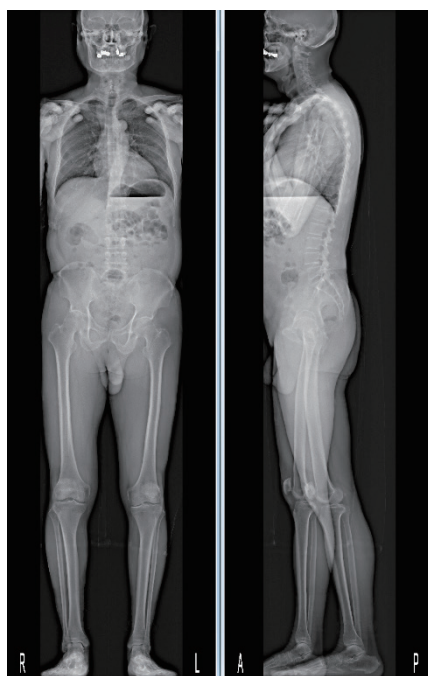


図 2
sterEOS 装置での全身撮影



何だか調子が悪い？ 現代人が陥りやすい『新型栄養失調』とは？

栄養失調というと食糧不足からなる戦時中のイメージもありますが、最近では現代人の不調の原因ともいわれる「新型栄養失調」という言葉が話題となっています。新型栄養失調とは、摂取カロリーは足りているのに、たんぱく質やビタミン・ミネラルといった必須栄養素が不足しカラダの不調に繋がることをいいます。口から入った栄養素は体内で互いに協力しあって生命活動をしています。偏った食生活をする事、つまり代謝に必要な栄養素が不足することでエネルギー産生が十分に行われず、疲労感やイライラ、めまいなどの様々な症状を引き起こします。まずは自身の食生活を見直し、バランスの良い食事の摂取を心がけましょう。

【新型栄養失調を防ぐには】

- ① 食事はパンや麺類などの主食のみにせず、肉や魚などのたんぱく質と野菜や海藻類などの副菜を組み合わせせて食べましょう。
- ② インスタント食品やファストフードばかりにならないように、手作りと外食や加工食品、調理食品を上手に組み合わせた食事を心がけましょう。





心臓超音波スクリーニング検査のご紹介

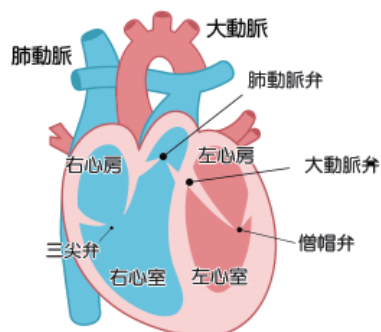
心臓超音波検査は心エコーとも呼ばれています。

順天堂医院では、この検査を1号館2階2E生理機能検査室で行っています。

心臓超音波検査は、心臓の動きや大きさ、血液の流れをリアルタイムに観察することができます。超音波はレントゲン検査のX線と異なり人体に無害ですので、安全で繰り返し検査することができます。

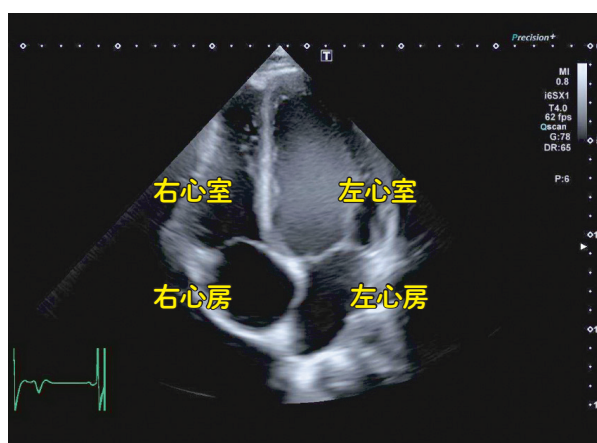
心臓超音波スクリーニング検査は、手術や抗がん剤治療が予定されている患者さんに行っています。手術前の検査では、心臓のポンプ機能が良好であるか、血液の流れが異常になるような弁膜症がないかを確認しています。抗がん剤治療の患者さんでは、使用する薬剤の影響により、心臓のポンプ機能の役割を果たしている左心室の収縮が低下することがあり治療前、治療中、治療後に確認する必要があります。

心臓超音波スクリーニング検査の所要時間は、およそ20分です。



心臓は4つの部屋に分かれており、ポンプ機能の重要な役割は左心室が担っています。

下図は、心臓の下から描出した超音波画像です。



超音波検査装置のプローブ：
これを胸にあてて超音波を発生させ、反射してきた超音波を受信します。



看護部長就任のご挨拶

今年4月、幅下看護部長の後任として、順天堂大学練馬病院から着任しました岡田綾と申します。順天堂大学には6つの附属病院がありますが看護の志は同じです。「仁」のこころで思いやりある優しいケアをおこなう医療者であること、目標をもって歩み続けることを大切にして、職務を果たしていきたいと思えます。皆様よろしくお願いたします。



順天堂医院看護師特定行為研修より、初の修了生が誕生

令和2年度、順天堂医院では看護師特定行為研修制度をスタートさせ、今春3/30(火)に6名の看護師が研修修了を迎えました(写真1)。

特定行為とは、これまで医師が行うことが多かった診療の補助行為を指し、すばやく脱水が無いかを確認して点滴を行うことや(写真2)、患者さんの状態を見極めて人工呼吸器の調整を行う(写真3)といった行為などが含まれます。そのため、看護師にはより実践的な判断力や、高い専門的知識・技術が必要とされ、修了生たちは約1年間の厳しいカリキュラムと実技研修、試験をクリアしてきました。現在、現場での実践をスタートしています。

患者さんに寄り添い、看護を行ってきた経験や視点を活かして、「治療」と「看護」の両側面から患者さんの回復を促すケアを実践していきます。



写真1 研修修了式の様子



写真2 脱水がないかを超音波検査で確認



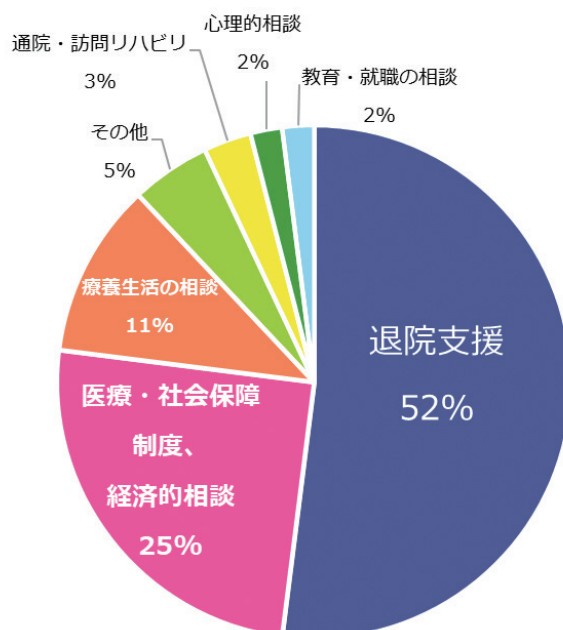
写真3 すばやく人工呼吸器を調整する



当室では「退院支援」や「社会保障制度」などのご相談をお受けしています。

「医療福祉相談室」では、治療・療養生活に伴って生じるさまざまな心配事に対して、ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）が患者さんやご家族と一緒に考え、医療・社会保障制度や福祉サービスを活用しながら、解決へのお手伝いをしています。相談内容の内訳は以下の通りです。

＜図1＞ 2020年度 相談内容別件数 1,876件の内訳



昨年度、当室で新しく受けた相談内容別件数は、1,876件＜図1＞、延べ取り扱い回数は39,476回でした。相談件数は年々増加している傾向にあります。

相談件数の多い順に、**退院支援**（リハビリテーション病院や療養型病院への転院や介護施設への入所、在宅医療や訪問看護の利用等）のご相談や、**医療・社会保障制度、経済的相談**（医療費など経済的な心配事や利用できる制度等）のご相談、**療養生活の相談**（自宅での訪問診療や訪問看護の調整等）があります。当室でのご相談を希望される場合は、事前にご予約をお願いいたします。

医療サービス支援センター 医療福祉相談室 直通Tel：03-5802-1207

なお、退院支援に関しては、「患者・看護相談室」とともにご相談に応じております。相談を希望される方は、適切な部署でお手伝いができるように、まずは入院されている病棟の看護師にその旨お声かけください。



お薬の捨て方について

お薬の廃棄方法についてよくお問い合わせをいただきます。
処方された本人以外の方が服用することがないように、
特にお子様が好奇心等で飲み込んだりして、重篤な事態と
ならぬように以下の項目に気をつけて適切に廃棄をお願い
いたします。



- **錠剤・粉薬や軟膏など固形のもの**：中身を出して、袋や紙などに包んで薬だとわからないようにして可燃ごみに出してください。
- **湿布剤**：可燃ごみに出してください。
- **目薬やシロップなど液体のもの**：新聞紙や布に吸収させて可燃ごみに出してください。
下水に流すのは、環境汚染につながりますのでやめましょう。
- **スプレーなどのエアゾール剤・噴霧剤**：火気のない屋外に出て、中身を出し切ってから自治体の分別に従って廃棄してください。
- **注射剤（ペン型インスリン注入器等）**：使用済みは可燃ごみへ出してください。（自治体によって異なります）
針がついている注射剤は、病院や薬局にて廃棄を依頼してください。
- **注射針**：ペットボトルなどの容器に入れて病院や薬局にお持ちください。
順天堂医院では、総合受付等に針廃棄ポストを設置しておりますので、そちらに廃棄してください。

廃棄の際は、お住まいの自治体の分別・収集に従ってください。
わからないことがあれば、お薬引き換え窓口の薬剤師にご相談ください。

今日からはじめる

健康講座



7
月号



総合診療科 教授
小林 弘幸

熱中症対策のポイント

近年、夏の暑さは酷暑と呼ばれるようになり、日常的に危険な暑さを経験するようになりました。この暑さで、特に気をつけたいのが「熱中症」です。

熱中症は、身体の体温調節機能がうまく働かず、めまい、失神、筋肉痛、筋痙攣、嘔吐などの症状から始まり、最悪の場合は死に至ることもあります。

人の体は約60%が水分です。これが2%減っただけで、嘔吐や微熱などの症状が出始めます。つまり、体重60kgの人であれば、汗や呼気で身体の体重が1.2kg減ると熱中症の危険が高まります。夏はこまめに水分補給をすることが何よりも大切です。

最近では、腸内環境の悪化も熱中症を引き起こす要因になっていることが分かってきました。腸内環境が悪化した状態とは、アンモニアや硫化水素といった有害物質を作る有害菌（悪玉菌）が多く存在している状態です。これらの有害物質が血液中に入って全身を回ると、体がうまく機能しなくなるなど負の方向に傾き、わずかな脱水状態や気温差にも体が正常に対応しにくくなってしまいます。また、腸内環境が悪化すれば、血管を広げる働きをする副交感神経に悪影響が及び、結果的に血流を悪くすることで熱中症を発症しやすくしてしまうのです。

腸内環境を整えるには、ヨーグルトやキムチ、納豆などの発酵食品を食べることや、不足しやすい食物繊維を1日に20g摂ることが有効です。日頃の食事を少し意識して、熱中症を予防しましょう。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL：03-3813-3111（大代表）

編集 広報管理運営委員会

発行 事務部 管理課（2021年7月発行）

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索



【順天堂医院HP】